繰上償還 運用報告書（全体版）

リアル・アセット債券ファンド
円ヘッジありコース／
円ヘッジなしコース
〈愛称〉 リアル・インカム

最終期（償還日　2024年８月20日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年４月20日から2024年８月20日まで （当初、2028年３月15日まで）	
運用方針	①主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業（長期にわたり、継続して安定したキャッシュフローを生成する資産を、保有している企業）の発行する債券等（期限付劣後債、永久劣後債、優先証券等を含む）に分散投資を行います。 ②マザーファンドにおける、債券等の運用指図に関する権限を、コーヘン＆スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。 ③「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。	
主要投資対象	リアル・アセット債券ファンド円ヘッジありコース	リアル・アセット債券マザーファンド受益証券
	リアル・アセット債券ファンド円ヘッジなしコース	
	リアル・アセット債券マザーファンド	世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等
主な組入制限	リアル・アセット債券ファンド円ヘッジありコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	リアル・アセット債券ファンド円ヘッジなしコース	
	リアル・アセット債券マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「リアル・アセット債券ファンド　円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース」は、信託約款の規定に基づき、2024年８月20日をもちまして繰上償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきお引立て賜りますようお願い申し上げます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社
東京都中央区日本橋二丁目２番16号　共立日本橋ビル
URL https://www.sompo-am.co.jp/
お問い合わせ先
TEL リテール営業部 0120-69-5432
（受付時間 営業日の午前９時～午後５時）

円ヘッジありコース

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
	円 銭	円	%	%	百万円
３期(2021年３月16日)	11,306	0	8.0	91.6	578
４期(2022年３月16日)	10,826	0	△4.2	90.3	554
５期(2023年３月16日)	10,010	0	△7.5	91.3	513
６期(2024年３月18日)	10,348	0	3.4	92.2	530
(償還時)	(償還価額)				
７期(2024年８月20日)	10,387.80	－	0.4	－	531

(注１) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注２) 基準価額及び分配金は１万口当たり（以下同じ)。
(注３) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。
(注４) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期　首)	円 銭	%	%
2024年３月18日	10,348	－	92.2
３月末	10,424	0.7	94.1
４月末	10,234	△1.1	92.8
５月末	10,281	△0.6	93.4
６月末	10,366	0.2	93.5
７月末	10,396	0.5	－
(償還時)	(償還価額)		
2024年８月20日	10,387.80	0.4	－

(注１) 騰落率は期首比。
(注２) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。
(注３) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

円ヘッジなしコース

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
	円 銭	円	%	%	百万円
３期(2021年３月16日)	11,718	0	14.4	87.8	600
４期(2022年３月16日)	11,772	0	0.5	87.7	610
５期(2023年３月16日)	12,342	0	4.8	88.9	639
６期(2024年３月18日)	15,036	0	21.8	90.3	786
(償還時)	(償還価額)				
７期(2024年８月20日)	15,766.02	－	4.9	－	818

(注１) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注２) 基準価額及び分配金は１万口当たり（以下同じ)。
(注３) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。
(注４) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期　首)	円 銭	%	%
2024年３月18日	15,036	－	90.3
３月末	15,309	1.8	91.1
４月末	15,583	3.6	90.6
５月末	15,763	4.8	90.3
６月末	16,291	8.3	88.2
７月末	15,779	4.9	－
(償還時)	(償還価額)		
2024年８月20日	15,766.02	4.9	－

(注１) 騰落率は期首比。
(注２) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。
(注３) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

設定以来の運用経過（2018年４月20日（設定日）～2024年８月20日（償還日））

■基準価額の推移

（円ヘッジありコース）

設定日：10,000円
償還日：10,387円80銭（期中分配金合計0円）
騰落率：3.9%（分配金再投資基準価額ベース）

・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■基準価額の主な変動要因

主要投資対象であるリアル・アセット債券マザーファンドの基準価額の上昇により、当ファンドの基準価額は上昇しました。なお、当ファンドは対円で為替ヘッジを行っていたため、為替変動による影響は限定的となりました。

（リアル・アセット債券マザーファンド）

設定来の騰落率は＋71.3%となりました。

主に、保有する債券のインカム（利子）要因に加えて、為替市場において、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で大幅に上昇したことがプラスに寄与しました。キャピタル（価格変動）要因もプラスに寄与したものの、小幅となりました。

■基準価額の推移

（円ヘッジなしコース）

設定日：10,000円
償還日：15,766円02銭（期中分配金合計0円）
騰落率：57.7%（分配金再投資基準価額ベース）

・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■基準価額の主な変動要因

主要投資対象であるリアル・アセット債券マザーファンドの基準価額の上昇により、当ファンドの基準価額は上昇しました。

（リアル・アセット債券マザーファンド）

設定来の騰落率は＋71.3%となりました。

主に、保有する債券のインカム（利子）要因に加えて、為替市場において、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で大幅に上昇したことがプラスに寄与しました。キャピタル（価格変動）要因もプラスに寄与したものの、小幅となりました。

■投資環境

○リアル・アセット債券市場

設定来のリアル・アセット債券市場は上昇しました。

設定後から2019年の年初までは一進一退の動きでしたが、2020年７月にかけて、米中貿易摩擦問題に対する懸念や新型コロナウイルス感染症が世界的な広がりを見せたことを受け、リスク回避的な市場環境となる中、利回りは大幅に低下（価格は上昇）しました。2021年３月にかけては、米国で追加の景気刺激策が実施される見込みとなり景気見通しが改善したことや、新型コロナウイルス向けのワクチンの普及などが好感され、利回りは上昇（価格は下落）しました。その後は、景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどを背景に利回りが低下する局面も見られたものの、FRB（米連邦準備理事会）が利上げを決定したことや、米国をはじめ各国の中央銀行がインフレ抑制のため積極的な金融政策を行うとの予想から、2022年６月にかけて利回りは上昇しました。2023年の春先には、米国や欧州における金融システム不安の拡大などから利回りは低下しましたが、10月にかけて、米国の堅調な経済指標や粘り強いインフレへの懸念などから、高金利政策の長期化観測が高まり、利回りの上昇基調が継続しました。12月にかけては、消費者物価指数が市場予想を下振れたことやFRB高官が利下げの可能性に言及し、利下げ期待の高まりなどを受け、利回りは低下しました。その後、米国の堅調な経済指標やFRBが利下げ開始に慎重な姿勢を示したことなどを受け、2024年４月にかけて利回りは上昇したものの、経済指標の下振れによるインフレ鈍化が意識されたことや、中東情勢の不透明感の高まりや株式市場の下落などを背景とする債券買いが優勢となったことで、期末にかけて利回りは低下しました。

○為替市場

米ドル、ユーロ、英ポンドは円に対して大幅に上昇しました。

設定後から2020年３月にかけては、米中貿易摩擦問題への懸念や原油安、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に対する警戒感を受け、リスク回避的な市場環境となったことから、各通貨とも下落しました。その後、米ドルは、FRBの金融緩和政策の長期化観測から2020年の年末にかけて下落基調が継続した一方で、ユーロ、英ポンドは、欧州経済の景気回復期待や米ドルの下落を受け、上昇に転じました。2024年７月にかけては、米国、欧州、日本の金融政策の見通しの差などから、各通貨とも上昇基調で推移しました。期末にかけては、米国の長期金利が低下基調となったことや日銀による追加利上げを受け、円の買戻しが進み、各通貨とも下落したものの、設定来では大幅な上昇となりました。

為替レートの推移

（注）為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

（円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース）

両コースとも、設定来、リアル・アセット債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。なお、円ヘッジありコースでは、実質組入外貨建資産について対円で為替ヘッジを行いました。その後、当ファンドの繰上償還に向けて、マザーファンドを全売却しました。

（リアル・アセット債券マザーファンド）

設定来、リアル・アセット企業の発行する債券などの組入比率を高位に維持した後、当ファンドの繰上償還に向けて、キャッシュ化を進めました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

（円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース）

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、全運用期間を通じて分配を行いませんでした。

最終期の運用経過（2024年３月19日～2024年８月20日（償還日））

運用経過

基準価額の推移

円ヘッジありコース

第７期首	騰落率	償還時
基準価額 10,348円	0.4% （分配金再投資基準価額ベース）	償還価額 10,387円80銭 （期中分配金合計－円）

- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年３月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

主要投資対象であるリアル・アセット債券マザーファンドの基準価額の上昇により、当ファンドの基準価額は小幅に上昇しました。なお、当ファンドは対円で為替ヘッジを行っていたため、為替変動による影響は限定的となりました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期中の騰落率は＋5.5%となりました。

保有する債券のインカム（利子）要因やキャピタル（価格変動）要因がプラスに寄与しました。また、為替市場において、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

● 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

ベビーファンド　マザーファンド

基準価額の推移

円ヘッジなしコース

第７期首	騰落率	償還時
基準価額		償還価額
15,036円	4.9％	15,766円02銭
	（分配金再投資基準価額ベース）	（期中分配金合計ー円）

- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年３月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

主要投資対象であるリアル・アセット債券マザーファンドの基準価額の上昇により、当ファンドの基準価額は上昇しました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期中の騰落率は＋5.5%となりました。

保有する債券のインカム（利子）要因やキャピタル（価格変動）要因がプラスに寄与しました。また、為替市場において、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

ベビーファンド　マザーファンド

投資環境

○リアル・アセット債券市場

当期のリアル・アセット債券市場は上昇しました。

期初は、米国において政策金利が据え置かれたことなどから、米国の利回りは低下（価格は上昇）しましたが、米国の堅調な経済指標や、FRB（米連邦準備理事会）が利下げ開始に慎重な姿勢を示したことなどを受け、2024年４月下旬にかけて利回りは上昇（価格は下落）しました。５月に入ると、米国のマクロ指標の軟化によりインフレ率上昇への警戒感が和らいだことから、利回りは低下基調で推移したものの、FOMC（米連邦公開市場委員会）議事要旨の内容がタカ派的（金融引き締め政策に積極的）と受け止められたことや、インフレ圧力の根強さを示す強い経済指標を受け、５月末にかけて利回りは上昇しました。その後は、利益確定や持ち高調整の売りや、堅調な経済指標などを受け、一時的に利回りが上昇する局面も見られましたが、経済指標の下振れによるインフレ鈍化が意識されたことや、中東情勢の不透明感の高まりや株式市場の下落などを背景とする債券買いが優勢となったことで、期末にかけて利回りは低下しました。

○為替市場

米ドル、ユーロは円に対して下落した一方で、英ポンドは円に対して概ね横ばいとなりました。

米ドルは、日銀がマイナス金利政策を解除したものの当面は緩和的な金融環境を継続する意思を示したことや、米国の堅調な経済指標を受け、期初から2024年７月上旬にかけて上昇しました。その後は、日銀による為替介入の実施や米国の長期金利が低下基調となったこと、米国トランプ氏や日本政府高官から円安をけん制する発言が相次いだこと、日銀による追加利上げを受け、円の買戻しが進んだこと

為替レートの推移

（出所：Bloomberg）

注．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

から下落しました。

ユーロ、英ポンドについても、円の買戻しにより急速に円高が進行したものの、欧州の政治的な先行き不透明感がやや後退したことなどを背景に上昇する局面もあり、期を通しては、ユーロは小幅な下落、英ポンドは概ね横ばいとなりました。

当該投資信託のポートフォリオ

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通して、リアル・アセット債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。なお、円ヘッジありコースでは、実質組入外貨建資産について対円で為替ヘッジを行いました。その後、当ファンドの繰上償還に向けて、マザーファンドを全売却しました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期を通して、リアル・アセット企業の発行する債券などの組入比率を高位に維持した後、当ファンドの繰上償還に向けて、キャッシュ化を進めました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

該当事項はありません。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2024年８月20日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

1万口当たりの費用明細

円ヘッジありコース

項目	最終期 2024.3.19～2024.8.20 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	55円	0.528%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× 期中の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は10,340円です。
（投信会社）	（29）	（0.280）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（24）	（0.234）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 1）	（0.014）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.005	(b)売買委託手数料＝ 期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　式）	（ 1）	（0.005）	
（投資信託証券）	（ 0）	（0.000）	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝ 期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　式）	（ 0）	（0.000）	
（投資信託証券）	（ 0）	（0.000）	
(d) その他費用	1	0.014	(d)その他費用＝ 期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 1）	（0.014）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	57	0.547	

注１．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注２．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注３．比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.27%**です。

注１．当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
注２．各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
注３．各比率は、年率換算した値です。
注４．当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
注５．上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジなしコース

項目	最終期 2024.3.19～2024.8.20 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	83円	0.528%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× 期中の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は15,745円です。
（投信会社）	（44）	（0.280）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（37）	（0.234）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.014）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.005	(b)売買委託手数料＝ 期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　式）	（ 1）	（0.005）	
（投資信託証券）	（ 0）	（0.000）	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝ 期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　式）	（ 0）	（0.000）	
（投資信託証券）	（ 0）	（0.000）	
(d) その他費用	2	0.014	(d)その他費用＝ 期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 2）	（0.014）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	86	0.547	

注１．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注２．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注３．比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.27%**です。

注１．当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
注２．各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
注３．各比率は、年率換算した値です。
注４．当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
注５．上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジありコース

○売買及び取引の状況

（2024年３月19日～2024年８月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
リアル・アセット債券マザーファンド	－	－	330,765	566,706

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）金額は受渡代金。

○株式売買比率

（2024年３月19日～2024年８月20日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	リアル・アセット債券マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	81,923千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	64,761千円
(c) 売買高比率（a）／（b）	1.26

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。
（注３）邦貨換算金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

○利害関係人との取引状況等

（2024年３月19日～2024年８月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2024年３月19日～2024年８月20日）

当期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高（元本）	取引理由
万円	万円	万円	万円	
1,000	－	－	1,000	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2024年８月20日現在）

2024年８月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)
	口数
	千口
リアル・アセット債券マザーファンド	330,765

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2024年８月20日現在）

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	534,085	100.0
投資信託財産総額	534,085	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況

（2024年８月20日現在）

項目	償還時
	円
(A) 資産	534,085,200
コール・ローン等	534,083,591
未収利息	1,609
(B) 負債	2,814,521
未払信託報酬	2,814,521
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	531,270,679
元本	511,436,994
償還差益金	19,833,685
(D) 受益権総口数	511,436,994口
１万口当たり償還価額（Ｃ／Ｄ）	10,387円80銭

（注１）信託財産に係る期首元本額512,992,872円、期中追加設定元本額428,654円、期中一部解約元本額1,984,532円
（注２）償還時における１口当たりの純資産総額　1.038780円

○損益の状況

（2024年３月19日～2024年８月20日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	2,677
受取利息	2,677
(B) 有価証券売買損益	4,830,876
売買益	57,395,812
売買損	△52,564,936
(C) 信託報酬等	△ 2,814,572
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	2,018,981
(E) 前期繰越損益金	15,703,151
(F) 追加信託差損益金	2,111,553
（配当等相当額）	（ 2,318,470）
（売買損益相当額）	（△ 206,917）
償還差益金（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	19,833,685

（注１）信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注３）リアル・アセット債券マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の40を上限とした率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年４月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年８月20日		資産総額	534,085,200円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	2,814,521円
				純資産総額	531,270,679円
受益権口数	510,000,000口	511,436,994口	1,436,994口	受益権口数	511,436,994口
元本額	510,000,000円	511,436,994円	1,436,994円	１万口当たり償還金	10,387円80銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	１万口当たり分配金	
				金額	分配率
第１期	510,332,435円	516,399,417円	10,119円	0円	0%
第２期	511,667,256	535,456,030	10,465	0	0
第３期	511,851,887	578,682,735	11,306	0	0
第４期	512,109,567	554,413,274	10,826	0	0
第５期	513,056,736	513,554,392	10,010	0	0
第６期	512,992,872	530,860,942	10,348	0	0

円ヘッジなしコース

○売買及び取引の状況

（2024年３月19日～2024年８月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
リアル・アセット債券マザーファンド	－	－	479,771	822,027

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）金額は受渡代金。

○株式売買比率

（2024年３月19日～2024年８月20日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	リアル・アセット債券マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	81,923千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	64,761千円
(c) 売買高比率（a）／（b）	1.26

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。
（注３）邦貨換算金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

○利害関係人との取引状況等

（2024年３月19日～2024年８月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2024年３月19日～2024年８月20日）

当期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高（元本）	取引理由
万円	万円	万円	万円	
1,000	－	－	1,000	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2024年８月20日現在）

2024年８月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘柄	期首（前期末）
	口数
	千口
リアル・アセット債券マザーファンド	479,771

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2024年８月20日現在）

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	822,788	100.0
投資信託財産総額	822,788	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況

（2024年８月20日現在）

項目	償還時
	円
(A) 資産	822,788,520
コール・ローン等	822,786,041
未収利息	2,479
(B) 負債	4,367,985
未払解約金	76
未払信託報酬	4,367,909
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	818,420,535
元本	519,103,959
償還差益金	299,316,576
(D) 受益権総口数	519,103,959口
１万口当たり償還価額（Ｃ／Ｄ）	15,766円02銭

（注１）信託財産に係る期首元本額522,733,211円、期中追加設定元本額2,013,669円、期中一部解約元本額5,642,921円
（注２）償還時における１口当たりの純資産総額　1.576602円

○損益の状況

（2024年３月19日～2024年８月20日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	2,963
受取利息	2,963
(B) 有価証券売買損益	42,106,148
売買益	42,734,180
売買損	△ 628,032
(C) 信託報酬等	△ 4,367,983
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	37,741,128
(E) 前期繰越損益金	255,044,929
(F) 追加信託差損益金	6,530,519
（配当等相当額）	（ 4,767,811）
（売買損益相当額）	（ 1,762,708）
償還差益金（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	299,316,576

（注１）信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注３）リアル・アセット債券マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の40を上限とした率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年４月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年８月20日		資産総額	822,788,520円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	4,367,985円
				純資産総額	818,420,535円
受益権口数	510,000,000口	519,103,959口	9,103,959口	受益権口数	519,103,959口
元本額	510,000,000円	519,103,959円	9,103,959円	１万口当たり償還金	15,766円02銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	１万口当たり分配金	
				金額	分配率
第１期	511,248,749円	526,265,538円	10,294円	0円	0%
第２期	512,045,600	524,357,480	10,240	0	0
第３期	512,541,314	600,572,679	11,718	0	0
第４期	518,612,037	610,525,719	11,772	0	0
第５期	517,980,695	639,273,266	12,342	0	0
第６期	522,733,211	786,002,704	15,036	0	0

○償還金のお知らせ

＜円ヘッジありコース＞

１万口当たり償還金（税込み）	10,387円80銭

＜円ヘッジなしコース＞

１万口当たり償還金（税込み）	15,766円02銭

リアル・アセット債券マザーファンド

繰上償還 運用報告書

最終期（償還日　2024年８月19日）

＜計算期間　2024年３月19日～2024年８月19日＞

リアル・アセット債券マザーファンドの設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2018年４月20日から2024年８月19日まで（当初、無期限）
運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円 銭	%	%	百万円
３期(2021年３月16日)	12,160	15.9	88.6	1,192
４期(2022年３月16日)	12,377	1.8	88.6	1,170
５期(2023年３月16日)	13,146	6.2	89.1	1,163
６期(2024年３月18日)	16,243	23.6	91.1	1,316
(償還時) ７期(2024年８月19日)	(償還価額) 17,129.01	5.5	－	1,329

(注１) 基準価額は１万口当たり（以下同じ)。

(注２) 当ファンドは、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年　月　日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
	円 銭	%	%
(期　首) 2024年３月18日	16,243	－	91.1
３月末	16,546	1.9	91.9
４月末	16,864	3.8	91.3
５月末	17,078	5.1	90.9
６月末	17,671	8.8	88.7
７月末	17,131	5.5	－
(償還時) 2024年８月19日	(償還価額) 17,129.01	5.5	－

(注１) 騰落率は期首比です。
(注２) 当ファンドは、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

設定以来の運用経過（2018年４月20日（設定日）～2024年８月19日（償還日））

■基準価額の推移

設定日：10,000円
償還日：17,129円01銭
騰落率：71.3%

■基準価額の主な変動要因

設定来の騰落率は＋71.3%となりました。

主に、保有する債券のインカム（利子）要因に加えて、為替市場において、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で大幅に上昇したことがプラスに寄与しました。キャピタル（価格変動）要因もプラスに寄与したものの、小幅となりました。

■投資環境

○リアル・アセット債券市場

設定来のリアル・アセット債券市場は上昇しました。

設定後から2019年の年初までは一進一退の動きでしたが、2020年７月にかけて、米中貿易摩擦問題に対する懸念や新型コロナウイルス感染症が世界的な広がりを見せたことを受け、リスク回避的な市場環境となる中、利回りは大幅に低下（価格は上昇）しました。2021年３月にかけては、米国で追加の景気刺激策が実施される見込みとなり景気見通しが改善したことや、新型コロナウイルス向けのワクチンの普及などが好感され、利回りは上昇（価格は下落）しました。その後は、景気回復ペースの鈍化が懸念されたことなどを背景に利回りが低下する局面も見られたものの、FRB（米連邦準備理事会）が利上げを決定したことや、米国をはじめ各国の中央銀行がインフレ抑制のため積極的な金融政策を行うとの予想から、2022年６月にかけて利回りは上昇しました。2023年の春先には、米国や欧州における金融システム不安の拡大などから利回りは低下しましたが、10月にかけて、米国の堅調な経済指標や粘り強いインフレへの懸念などから、高金利政策の長期化観測が高まり、利回りの上昇基調が継続しました。12月にかけては、消費者物価指数が市場予想を下振れたことやFRB高官が利下げの可能性に言及し、利下げ期待の高まりなどを受け、利回りは低下しました。その後、米国の堅調な経済指標やFRBが利下げ開始に慎重な姿勢を示したことなどを受け、2024年４月にかけて利回りは上昇したものの、経済指標の下振れによるインフレ鈍化が意識されたことや、中東情勢の不透明感の高まりや株式市場の下落などを背景とする債券買いが優勢となったことで、期末にかけて利回りは低下しました。

○為替市場

米ドル、ユーロ、英ポンドは円に対して大幅に上昇しました。

設定後から2020年３月にかけては、米中貿易摩擦問題への懸念や原油安、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に対する警戒感を受け、リスク回避的な市場環境となったことから、各通貨とも下落しました。その後、米ドルは、FRBの金融緩和政策の長期化観測から2020年の年末にかけて下落基調が継続した一方で、ユーロ、英ポンドは、欧州経済の景気回復期待や米ドルの下落を受け、上昇に転じました。2024年７月にかけては、米国、欧州、日本の金融政策の見通しの差などから、各通貨とも上昇基調で推移しました。期末にかけては、米国の長期金利が低下基調となったことや日銀による追加利上げを受け、円の買戻しが進み、各通貨とも下落したものの、設定来では大幅な上昇となりました。

為替レートの推移

（注）為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

設定来、リアル・アセット企業の発行する債券などの組入比率を高位に維持した後、当ファンドの繰上償還に向けて、キャッシュ化を進めました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

＜償還を迎えて＞

当ファンドは、2024年8月19日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

○１万口当たりの費用明細

（2024年３月19日～2024年８月19日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	1	0.005	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(1)	(0.005)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(b) 有価証券取引税	0	0.000	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(0)	(0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	6	0.034	(c)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.034)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	7	0.039	
期中の平均基準価額は17,058円です。			

（注１）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注２）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

（2024年３月19日～2024年８月19日）

株式

		買付 株数	買付 金額	売付 株数	売付 金額
		百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
外国	アメリカ	36	85	204	449

（注１）金額は受渡代金。
（注２）単位未満は切捨て。

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千アメリカ・ドル 577	千アメリカ・ドル 5,362
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	イタリア	社債券（投資法人債券を含む）	－	214
	フランス	社債券（投資法人債券を含む）	104	760
	オランダ	社債券（投資法人債券を含む）	－	605 （ 100）
	その他	社債券（投資法人債券を含む）	－	1,094 （ 100）
	イギリス	社債券（投資法人債券を含む）	千イギリス・ポンド －	千イギリス・ポンド 256

（注１）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注２）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）単位未満は切捨て。
（注４）社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千アメリカ・ドル	口	千アメリカ・ドル
	PUBLIC STORAGE	－	－	1,489	26

（注１）金額は受渡代金。
（注２）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2024年３月19日～2024年８月19日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	81,923千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	64,761千円
(c) 売買高比率（a）／（b）	1.26

（注１）単位未満は切捨て。
（注２）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。
（注３）邦貨換算金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

○利害関係人との取引状況等

（2024年３月19日～2024年８月19日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2024年８月19日現在）

2024年８月19日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国株式

銘柄		期首(前期末) 株数
（アメリカ）		百株
AT&T INC		14
BROOKFIELD BRP HOLDINGS		41
BROOKFIELD BRP HOLDINGS		27
ENBRIDGE INC		15
CMS ENERGY CORP		27
SCE TRUST VII		44
合計	株数	168
	銘柄数	6

（注）単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末) 口数
（アメリカ）		口
PUBLIC STORAGE		1,489
合計	口数	1,489
	銘柄数	1

○投資信託財産の構成

（2024年８月19日現在）

項目	償還時 評価額	償還時 比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,329,233	100.0
投資信託財産総額	1,329,233	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2024年８月19日現在)

項　　目	償 還 時
	円
(A) 資産	1,329,233,555
コール・ローン等	1,329,229,550
未収利息	4,005
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	1,329,233,555
元本	776,013,104
償還差益金	553,220,451
(D) 受益権総口数	776,013,104口
１万口当たり償還価額(Ｃ／Ｄ)	17,129円01銭

(注１) 信託財産に係る期首元本額810,537,176円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額34,524,072円

(注２) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

リアル・アセット債券ファンド　円ヘッジなしコース
476,692,691円

リアル・アセット債券ファンド　円ヘッジありコース
299,320,413円

(注３) 償還時における１口当たりの純資産総額　1.712901円

○損益の状況 (2024年３月19日～2024年８月19日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	21,535,694
受取配当金	1,475,323
受取利息	20,060,100
その他収益金	271
(B) 有価証券売買損益	51,084,727
売買益	53,680,776
売買損	△ 2,596,049
(C) 保管費用等	△ 467,779
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	72,152,642
(E) 前期繰越損益金	506,043,737
(F) 解約差損益金	△ 24,975,928
償還差益金(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	553,220,451

(注) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。